

## 第62回宮崎県中学校総合体育大会

### 第62回宮崎県中学校総合体育大会バレーボール競技ハンドブック

#### 1 大会日程等について

項 目	7月24日(日)	7月25日(月)	7月26日(火)
駐 車 場 開 場	11:30以降	7:45以降	7:45以降
体 育 館 開 館	11:45	8:00	8:00
監 督 会 保護者代表者会	12:00	8:15	8:15
設 定 練 習 時 間	第3試合 12:00	第2試合 8:15	第2試合 8:15
	第2試合 12:15	第1試合 8:45	第1試合 8:45
	第1試合 12:35		
	コート3試合のみ上記時間帯で実施。2試合の場合は、12:15まではフリー練習。		Bコートは、ボールを使わなければ、使用可。Dコートはフリー練習。
プ ロ ト コ ー ル	13:00	9:19	9:19
試 合 開 始 時 間	13:11	9:30	9:30
試 合 間	前試合の公式記録終了5分後		
		第3試合は、前試合公式記録終了30分後。 第4試合は、通常通り。	連続試合は、2セット終了時が15分間、3セット終了時が20分間。
試 合 間 練 習	ボールをヒットしないパス程度の練習のみ。		フリー
試 合 終 了 後	速やかにベンチを空ける。		

#### 2 諸注意事項

駐 車 場 等	<p>○駐車場開場は厳守してください。24日(日)の中学校会場も同様です。また、25・26日は平日でもあり、通勤ラッシュ時間帯です。決して、7:40前に到着することがないようにして下さい。なお、役員、補助員は会場設営準備のため事前に入場しておりますのでご理解ください。</p> <p>○県体育館駐車場は、満車になり次第、付近の有料駐車場へまわってください。駅周辺に多くの駐車場があります。無理な駐車は、大会運営を妨げ、大変な迷惑になります。</p> <p>○選手1~2人に車1台という光景をよく見かけます。送迎のみであればわかる話ですが、そのまま駐車となると、非常に非効率です。</p>
体 育 館 開 館 等	<p>○開館時間を必ずお守りください。特に24日(日)については、例年、場所取り・横断幕張りで早い来場が見られますが、横断幕は試合時のみ張ることになります。</p> <p>○県体育館の応援席はA・Cコートがサイドライン側のみ、Bコートがエンドライン側のみとなり、応援席確保のため、前列より3席は空席状態にしてください。荷物は一切置けません。</p>
監 督 会 保護者代表者会	<p>○このハンドブックを必ずご持参下さい。</p> <p>○公式大会の監督会、保護者代表者会です。服装をきちんとお願いします。短パン・ランニング・サングラス等の着用はご遠慮願います。</p> <p>○時間厳守でお集まりください。例年、会議場所に着いてから、保護者を呼び、時間進行の妨げになっております。特に24日(日)は、時間が押していますのでご協力をお願いします。</p> <p>○大会3日間とも監督会・保護者代表者会の形式になります。</p>

## 第62回宮崎県中学校総合体育大会

	<p>○事前に、大会実施要項、このハンドブックをよく読んでご集合ください。書いてあることを「聞いていない」「知らなかった」と言われる先生方がいます。そのようなことがないようにお願いします。</p> <p>○監督・選手等変更は、必ず、24日（日）の監督会で提出してください。以降は、受付ができません。<u>2部必要です。不十分な場合も受け付けません。</u>原則、学校・地区中体連会長の公印が必要です。各校体育主任からしっかり方法を聞いておいてください。</p>
<p style="text-align: center;">設 定 練 習</p>	<p>○設定練習時間通りに進めます。ただし、開館後から設定練習時間まではボールを使わないウォーミングアップのみ許可をします。また、コート設営中の場合もありますので、その際は役員の指示に従ってください。</p> <p>○24日（日）・25日（月）については、設定練習のあるチームのみフロア内にあることができます。その他のチームは、観客席等で待機となります。</p> <p>○26日（火）は、フリーコートがあります。Bコートについては、ボールを使わないウォーミングアップのみとし、Dコートについては、割り当てはしませんが、次試合のチームを優先で、譲り合って使用して下さい。ボール使用可とします。ただし、ネットはありません。</p> <p>○設定練習時は、監督・コーチ・マネージャー（左胸部に規定のマークを付けて）、登録選手・その他の部員のみフロアに入ることができます。保護者や登録外のコーチはフロア内へは入れません。</p>
<p style="text-align: center;">試 合 開 始 時 刻 等</p>	<p>○プロトコール・試合開始時刻は記載通りです。ただし、設営等の関係で、遅れる場合があります。競技委員の指示に従ってください。<u>なお、24日（日）について大会実施要項の競技開始時刻と表記が違っておりますが、運営上、ハンドブック上の表記で実施します。</u></p> <p>○プロトコール後は、監督・コーチ・マネージャー、登録選手12名のみ（計最大15名）がフロアに残ります。それ以外は、観客席に上がることとなります。</p> <p>○試合間は、原則として公式記録終了後5分後です。詳しくは、上記大会日程等を参考にして下さい。また、隣のコートが試合中は、パス程度の練習、つまり、ボールをヒットしない練習のみ可となります。県体育館のDコートは該当しません。フリー練習で結構です。</p> <p>○26日（火）の試合間は、すべてフリー練習可です。</p> <p>○試合終了後は、速やかにベンチを空け、試合後のミーティングをベンチの前で行わないようにご協力をお願いします。</p>
<p style="text-align: center;">会 場 使 用</p>	<p>○県体育館は、館内にシートは敷けません。また、館外も入り口付近でのシート敷きをご遠慮ください。観客席で昼食はとれますのでご協力をお願いします。</p> <p>○バッテリー等の充電、ポット等の電源使用は厳禁です。どうしても使用される場合は、事務所等で許可を得て、有料で使用してください。</p> <p>○中学校会場については、土足禁止の個所に土足で上がっている保護者を多く見かけます。選手が守っていても保護者がそれでは話になりません。そんな保護者を注意する側のこともお考えください。</p> <p>○中学校会場独自のルールがあります。<u>自分の学校では大丈夫は通用しません。</u>また、会場校の保護者も懸命に運営協力をしていただいています。その方々に対して、暴言や苦情を言う心ない保護者がいます。時には、生徒に対して同様の行為をする考えられない保護者もいます。そのような保護者のいるチームには何らかのペナルティを考えたいと思います。大会運営にご理解をお願いします。</p>

## 第62回宮崎県中学校総合体育大会

	<p>○弁当ガラやごみは残さずチームで処理してください。業者引き取りの場合は、必ず手渡しをお願いします。そのまま放置の業者任せは、信用できません。また、チームで注文した以外の弁当ガラの放置が最近目立ちます。これは、選手の親戚等が残したものと考えられる場合があります。また、小さいお子さん等も平気でお菓子くずを捨てる等している場合があります。来た時よりも美しくの精神は、こういう時に発揮してもらい、チームのいる場所のみではなく、周辺まで気を配っていただきたいと思えます。ご協力をお願いします。</p> <p>○忘れ物が目立ちます。高価なシューズや水筒、応援グッズなど結構あります。1週間は生田中学校で保管しますので、ご連絡ください。(0985-48-1101)</p> <p>○会場内での盗難があります。貴重品は必ずチームで保管し、靴も自分で保管してください。また、間違っって他人の靴を履いていくという一番の理由は、入り口などに靴を置いてるところから始まります。靴箱もありますが、自分で保管するようにお願いいたします。また、会場内では「置き引き」と言われる窃盗も多発しています。応援に夢中になっているところを狙われます。荷物の放置は論外です。お気を付け下さい。</p> <p>○カメラのフラッシュ撮影は禁止です。カメラがオートモードのためにフラッシュ点滅というケースがあるようですので、注意して下さい。フラッシュ撮影は、判定、プレーに支障があります。また、チーム関係者以外の撮影…つまり変質者の類の撮影があるかもしれません。お気づきの時点で大会本部へご連絡ください。同時にユニフォーム盗難の例もありますので、お気を付け下さい。</p>
<p style="text-align: center;">競 技 等</p>	<p>○決勝リーグの順位決定は以下の通りとします。</p> <p>①勝率②セット率(得セット/失セット)③ポイント率(総得点/総失点)④直接対決</p> <p>○男女とも上位2チームが九州大会(熊本)の出場権を得ます。さらに九州大会上位5チームが全国大会(大阪)の出場権を得ます。</p> <p>○大会終了後、九州大会出場チーム監督に説明会を行ないます。</p> <p>○スタッフの服装(監督・コーチ)については、統一したものでお願いします。宮崎県では、「統一」という点を以下のように扱います。</p> <p>①シャツは、同色・同系とします。メーカーの統一は問いませn。パンツは、短パンは禁止。同色同系の長いパンツとします。メーカーの統一は問いません。</p> <p>②同系は同じ系統であり、同型とは違います。細かく言えば、シャツは、ポロシャツでそろえ、パンツはスラックスで揃えるという意味です。また、ラインがあったり、なかったりは、基調色が同じであれば可です。</p> <p>③一番安心するのは、同メーカーです。…九州・全国は解釈上そうなっています。</p> <p>○マネージャーの服装は、登録選手と異なる服装になります。短パンも可です。</p> <p>○ユニフォームや審判上の注意等、後述の確認事項をよくご覧ください。</p>
<p style="text-align: center;">そ の 他</p>	<p>○選手・保護者向けの注意事項は別途様式にて示してあります。そちらを必ず配布し、このハンドブックをもとに、事前に確認をしておいてください。</p> <p>○眉剃り・染髪等による選手の参加は認めません。各学校の徹底した指導のもと、参加させるようにお願いします。なお、そのような選手がいる場合、本部と連絡を取り合っって、出場不可となる場合があります。ご理解ください。</p> <p>○2・3年生のマナーの心配はさほどしておりませんが、近年1年生のマナー低下が心配されます。こちらもよろしくご指導ください。</p> <p>○ラインズマン・点示等しっかりとジャッジができる指導をお願いします。試合に負け、だらだらとした態度、ジャッジのできない1年生…。その判定で負けることの悔しさはお互いに味わいたくないですよね。よろしくお願いします。</p>

## 第62回宮崎県中学校総合体育大会

### 競技上の確認事項

- 1 競技は、平成23年度(財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。  
リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 2 競技日程及び方法は、プログラム掲載の通りとし、決勝トーナメント、上位4チームによる総当たりリーグ戦による。なお、試合は3セットマッチとする。
- 3 前試合終了後、コート準備が整ったら速やかに合同練習に入る。合同練習の時間は5分間とし、パス程度の練習とする。
- 4 第1試合開始時刻は以下の通りとする。

24日(日)	25日(月)	26日(火)
13:11	9:30	9:30

なお、試合が連続する場合は、前の試合が2セットで終了した時には15分、3セットの時は20分空け、その後プロトコールに入る。この時間のコート使用は合同練習に準ずる。

- 5 公式練習は、6分間とする。合同で公式練習を実施しない場合は、各チーム3分間とする。
- 6 プロトコール以降は、ベンチ及びフロアには有効に登録された監督・コーチ・マネージャー(生徒)及び選手以外は入ることができない。
- 7 監督・コーチ・マネージャーマークは、左胸部につけること。チームキャプテンは、胸の番号の下に規定のマークをつけること。
- 8 スタッフ(監督・コーチ)は、統一された服装でベンチに入ること。(短パン・ランニングシャツは禁止)また、マナーについては十分に留意すること。
- 9 試合コート及びフロアでのボール使用は、合同・公式練習とセット間(フリーゾーンのみ)以外認めない。  
また、ロビー等でのボール使用は、禁止するものとし、他は会場ごとに定められた規則に従うこと。
- 10 エントリーの変更・訂正は、大会初日の監督会議終了時に規定の用紙により競技委員長に提出すること。これ以外の変更・訂正は、いかなる場合も一切認めない。

### 会場使用上の確認事項

- 1 体育館で使用するシューズは、室内専用のものを使用すること。  
室内専用シューズで体育館の外へ出ることは禁止。
- 2 各自の屋外用の履物は靴箱に入れるか、または収納袋に入れて各自で保管すること。玄関先の脱ぎ捨てはしない。
- 3 原則、降雨時は濡れた傘は室内に持ち込まないこと。傘立てがない会場については、ビニール袋を各チームで準備し、管理をすること。
- 4 フロア内への飲食物の持ち込みはしないこと。  
フロア内への飲料の持ち込みは、登録選手・スタッフが使用するドリンクのみとし、スクイズボトル等に入れること。ペットボトル・コップ付き水筒は禁止する。
- 6 火災報知器・消火器などには触れないこと。
- 7 フロア内での観戦は原則として許可しない。
- 8 持参した飲食物等のゴミは、すべて持ち帰ること。
- 9 喫煙は、所定の場所ですること。なお、中学校会場は敷地内全面禁煙とする。
- 10 トイレの使い方には十分注意すること。
- 11 盗難・事故などに十分注意すること。
- 12 車は、駐車場で他の車に支障のないように指定場所に駐車すること。また、限られたなかでの駐車となるため乗り合わせてくること。

## 第62回宮崎県中学校総合体育大会

### 審判上の確認事項

- 1 本大会は、平成23年度(財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。  
リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。  
監督、コーチ、選手ともに競技規則に精通し、忠実であること。
- 2 「トス」の後、監督及びチームキャプテンは、記録用紙にサインする。
- 3 各コートにウォームアップ・エリアを設ける。ただし、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- 4 セット間は、フリーゾーンでのボールの使用を認めるが、隣のコートの妨げにならないように注意し、パス程度とする。
- 5 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。(相手チームに向かってのガッツポーズ等)
- 6 いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意する。またコート上の選手がベンチのスタッフや交代競技者ともタッチ(ハイタッチなど)おこなわないこと。
- 7 ワンボールで試合を行なうので、デッドになったボールは、速やかに次のサーバーに渡すこと。
- 8 タイムアウトの要求は、監督がベンチから立ち上がりコールしながらオフィシャルハンドシグナルを明確に示して要求すること。
- 9 競技者交代の要求は、正規の競技中断中に行なうこと。また、交代競技者がコートに入る準備をして競技者交代ゾーンに入ること。そうでない場合は、競技者交代は認められず、そのチームに遅延に対する罰則が適用される。  
同時に2組以上の競技者交代をしようとするときは、すべての交代する競技者は同時に競技者交代ゾーンへ入ること。  
本年度よりクイック・サブスティチューション・システム(QSS)で行なう。
- 10 ゲーム中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行なう。タイムアウト、セット間及び審判員が危険と判断した場合のみモップ使用を許可する。

### その他の規定等

- 1 ユニフォーム・パンツ・ソックスの色とデザインはチームで統一すること。  
ユニフォームの背番号は、1～18番までとする。また、ユニフォームの番号は胸部と背部の中央にユニフォームと対照的な色と明るさでつけること。番号の高さは胸部が10～15cm、背部が15～20cmで、字幅は最小2cmとする。  
ユニフォームには正式な学校名またはその略称を、胸部か背部につけること。都道府県名をつける場合には、左袖につけること。  
ユニフォームの胸部に校章をつけることができる。
- 2 パンツの下からはみ出るようなスパッツの使用は、個人でも全員が揃って使用している場合でも禁止する。
- 3 ハチマキやサポーター類もユニフォームに準ずるものとする。したがって刺繍等は学校名のみとすること。
- 4 ラインズマン・点示については、原則負けチームより8名とする。なお、第1試合については、下記の通りとする。

24日(日)	25日(月)	26日(火)
コート3試合の場合、第3試合のチームから4～5名ずつ。コート2試合の場合、第2試合のチームから4～5名ずつ。	第1試合は、大会補助員が担当する。 ※決勝リーグからも大会補助員が担当する。	大会補助員が担当する。

※24日(日)のみは、記録員もチームよりお願いします。

試合開始前・セット間及び終了の手順

< 試合開始前 >

試合前	チーム	主審・副審
	審判員のネット等のチェック時は、ネットを使用せずにウォーミングアップすることができる。	審判員は、ネットの高さ、張り具合、アンテナの位置及び、サイド・バンドの位置をチェックする。
11分前	チームキャプテンは、トスのために記録席へ行く。トスの後、記録用紙にサインする。	主審は、記録席前で、副審を立ち合わせてトスを行なう。副審は、両方のチームのキャプテン、監督を記録席に導き、記録用紙にサインをさせる。
10分前	両チームが一緒か、または個別に(サブ権を得たチームから)公式練習を開始する。	主審は、公式練習開始を吹笛する。そして、ボール、スコア・シート、ブザー、ユニフォームなどゲームに必要な用具をチェックする。ライン・ジャッジと打ち合わせを行なう。副審は、公式練習の計時を行なう。
7分前	個別に公式練習を行っている場合は、交代する。	副審は、各チームが個別に公式練習を行っている場合は、その交代を吹笛で合図する。
4分前	公式練習を終了し、各チームのメンバーは速やかにベンチに戻る。	主審は、公式練習の終了を吹笛する。
3分前	全プレーヤーは、エンドライン上に整列する。その際、チームキャプテンは、右端に立つ。主審の吹笛後、ネット付近で最初に両チームキャプテンが握手する。そして、各チームメンバーが続いて握手する。主・副審へはあいさつをしなくてよい。その後、各チームメンバーはベンチに戻り、スターティングメンバーは待機する。	主審は、両チームのプレーヤーをエンドライン上に導く。その際、チームキャプテンが右端にいるか確認する。主・副審は審判台の前で、ネットをはさんで記録席側から見て左に主審・右側に副審が位置する。両チームが整列したらあいさつ(握手)を交わすように吹笛する。審判員はそれぞれの位置につく。
1分 30秒前	主審の合図で、スターティングメンバーはベンチから直接コートに入る。	主審は吹笛で、プレーヤーをコート内に導く。副審及び記録員は、それぞれスターティング・ライン・アップを照合する。その後、副審は、ボールを最初のサーバーに送る。
0分前	最初のサーバーは、主審のサービス許可の吹笛によりサービスを行なう。	主審は、サービス許可の吹笛をする。

< セット間 >

試合前	チーム	主審・副審
セット終了後	セットが終了したら、コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列する。プレーヤーは主審の吹笛で向かって右側のサイドラインに沿って進み、支柱の外側を通過したら、直接それぞれのベンチに戻る。	主審は両チームのプレーヤーがエンドライン上に整列したら、コートを交替するよう吹笛とシグナルで合図する。
2分30秒後	プレーヤーは、副審の吹笛により、ベンチから直接コートに入る。	副審は、記録員の合図を受けて両チームにコートに入るように吹笛で合図する。副審と記録員はその後、直ちにスターティング・ライン・アップを照合する。

< 最終セットのコートチェンジ >

試合前	チーム	主審・副審
いずれかのチームが13点目を先取した時	主審の吹笛で、コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列する。主審の吹笛で向かって右側の支柱の外側をまわりコートを交替する。	主審は、13点目の吹笛後、両チームのプレーヤーがエンドライン上に整列したら、コートを交替するよう吹笛とシグナルで合図する。

< 試合終了後 >

試合前	チーム	主審・副審
速やかに	試合が終了したら、全プレーヤーはエンドライン上に整列する。 <u>その際、チームキャプテンは、右端に立つ。</u> 主審の吹笛でネットに近づき相手チームとあいさつ（握手）を交わす。 <u>チームキャプテンは主審と副審に感謝の握手をする。</u> そして、記録用紙にサインする。チームは直ちにベンチから退出する。	主審は全プレーヤーをエンドライン上に整列させる。主審は、審判台を降り、副審が審判台の右側の定位置に着いたら吹笛で、両チームにあいさつ（握手）させる。そして両チームキャプテンをともなって記録席へ行き、記録用紙にサインさせ、その後、記録員の記録用紙への記入を完了させる。

## 第62回宮崎県中学校総合体育大会

### 平成23年度 (財)日本中学校体育連盟バレーボール競技部 における 『6人制ルールの取り扱い』について <第3版>

#### 1、第15条第10項3 競技者交代の手順

- (1) 競技者交代は、競技者交代ゾーン内で行わなければならない。(第1条第4項3)
- (2) 競技者交代では、記録用紙に競技者交代を記録し、競技者の出入りを許可するのに必要な時間だけ競技は中断される。
- (3) 競技者交代の要求とは、正規の競技中断中に、交代競技者がコートに入る準備をして競技者交代ゾーンに入ることをいう。そうでない場合は、競技者交代は認められず、そのチームに遅延に対する罰則が適用される。(第16条第2項)  
競技者交代の要求は、記録員または副審によって受け付けられ、適切なブザーまたは吹笛により通告される。
- (4) チームが、同時に2組以上の競技者交代をしようとするときは、すべての交代する競技者は同時に競技者交代ゾーンへ出向かなければならない。この場合、同一の要求と見なされ、交代は1組ずつ連続して行わなければならない。

競技者交代の基本的な手順は下記の通りである。

- ①交代競技者が、サブスティチューションゾーンに入ったら、副審が吹笛し、ハンド・シグナルを示す。主審もハンド・シグナルを示す。  
その際、選手が準備をできていない場合は、拒否して遅延の罰則が適用される。
  - ②副審は、ボールのそばで競技者交代をコントロールする。
  - ③副審は、交代競技者の方を向き、競技者をサイド・ライン上に止まらせる。
  - ④副審は、コート内の交代する競技者に手を上げさせる。
  - ⑤記録員は交代できることを確認できれば、軽く手を挙げて合図を送る。交代できない場合は記録員が手を振る。
  - ⑥副審は、記録員を確認し、手で合図をして競技者を交代させる。
  - ⑦記録員は記録用紙を記入して、完了したら両手を上げる。
  - ⑧複数の競技者交代の場合は、1組ずつ③から⑦の手順を同様に行う。
  - ⑨副審は記録員を確認し、完了を主審に知らせる。
  - ⑩交代競技者がサービスの吹笛後にサブスティチューションゾーンに入った場合は、拒否をして不当な要求とする。  
交代競技者がサービスの吹笛後にサブスティチューションゾーンに入り副審が吹笛した場合は、遅延の罰則が適用される。
- ※ 競技者交代の要求を記録員のブザーで通告するとき、両チームほぼ同時に競技者交代の要求があった場合は、記録員がどちらのチームの要求を受け付けたのか、連携を取って手続きをする。その際、副審がどちらのチームの交代を先に行うかを、コントロールする。
- ※平成23年度より、中体連も「クイック・サブスティチューション・システム(QSS)」を採用する。
- ①基本的な手続きは上述のJVAの取り扱いと同様である。
  - ②複数の競技者交代の要求は、1組(以上)をサブスティチューション・ゾーン付近で待たせ、順次手続きをする。  
(サブスティチューション・ゾーン内にいないからといって、拒否したり罰則を適用したりしない。)
  - ③選手の勝手な判断によりサブスティチューション・ゾーン内に入り、副審または主審の吹笛後に監督がキャンセルした場合は、遅延の罰則が適用される。

#### 【補足】

☆QSSを行えるのは「サブスティチューション・ゾーン内」のみ、またリベロとの交代は「リプレースメント・ゾーン内」のみである。

※ 上記以外にも県中体連専門部HPに掲載されています。